

市長の所信表明に対して

5会派が 代表質問

9月30日の本会議冒頭、伏見市長は、今後の市政運営についての所信を表明しました(3面参照)。これに対し、各会派を代表する5人の議員が、10月7日・8日の2日間にわたって代表質問を行いました。

※質問については、紙面の都合上、3項目を選定し、要約して掲載しているため、実際の発言口調とは異なります。

録画映像は
こちらから



タブレット型パソコン 全中学校への整備計画は

党団
明議員
公議



丹生 真人

中学生全員にタブレット型パソコンを導入するというが、新学習指導要領の実施に向け、ICTを活用した学習活動の充実が求められる中、本市では、学習用コンピュータの整備状況が国の示す水準に至っていない。我が会派は、こうした状況の改善を訴え、さらに中学生に一人一台の整備を求めてきたが、周辺機器等を含め、今後どのような計画で整備を行うのか。

答弁 国は3人に1台程度の学習用コンピュータを整備するよう示すが、中学校では教科担任制をとるため、限られた台数では学習指導に支障を来す可能性もあり、家庭学習での活用も視野に入れている。



タブレット型パソコンを活用した授業の様子(第四中学校)

一人一台の整備が必要と考える。そのため、本市では、国が最終的に求める水準として、計画的にICT環境の段階的に取り組むを進める。今後は、周辺機器の整備と活用方法を含め、第四中学校等で現在取り組んでいる研究等が現行取組んでいる研究結果の充実について検討を進めたい。

問 子ども医療費の助成18歳まで対象拡大を

また、以前から、避難所の環境整備、特に学校体育館へのエアコン設置を要望してきたが、既に他市では国の補助制度を活用しながら取り組みが進められている。大きな自然災害が相次ぐ中、避難所の環境改善は喫緊の課題であり、早急な対応が必要ではないか。

なお、国は国土強靱化基本計画を策定し、自治体にも地域計画の策定を求めている。本市でも地域計画を策定し、補助金等の確保を図りながら、市民の生命や財産を守る安全、安心の取り組みを進めるよう要望する。

答 地区防災計画の策定を検討する校区に職員が出向いて、助言や情報提供を行い、地域防災に関する有識者の知見も活用しながら支援を行う。

また、エアコン設置など避難所の長期化を想定した環境改善については、重要な課題と認識している。今後、国等の補助金の活用も含めた財源確保策や、他の施策との優先順位、設置手法等を検討する。

◆その他の質問

○中学校給食、全員給食への変更を目指す根拠は

○市駅周辺再整備の重要性を

分割実施の手法を導入し 市駅周辺再整備の推進を

大阪維新の会
枚方市議会議員団



岩本 優祐

市長の1期目では、市駅周辺再整備の中心となる④街区などにおいて目に見える形で進めるべきではないかと感じる。特にスピード感を持って進めることが重要であるため、市民会館を含む④街区や②・⑤街区といった大きな区域の中は一括で整備せず、財源の見直しや地権者の理解が得られたところから順次整備する分割実施の考え方も取り入れるべきではないか。

また、これまで④街区で高層マンションの整備等についてはさまざまな意見があり、賛否が分かれる状況である。今後、議会を初め、さまざまな意見を取り入れる必要があると考えるが、見解を聞く。

答 ②・④・⑤街区では、将来にわたる財政状況を踏まえた上で、先行して取り組むことが可能なエリアの整理や、さらなる民間ノウハウの活用などについて市議会とも十分に意見交換し、事業手法や魅力を高めるコンテンツの導入とあわせ、より市民の声を取り入れられるよう検討する。



枚方市駅周辺(市民会館を含む④街区の一部)

問 積極的に新技術を導入しスマート自治体の実現を

答 国の将来構想では、人口減少が進む中、持続可能な自治体運営を進めるため、従来の半数の職員でも自治体が本来担うべき機能を発揮できるように取り組む。

問 子どもの生きる力を育む新たな教育大綱の策定を

答 今後、新たな教育大綱

を策定するというが、ますます変化が加速する社会を見据え、地域等と連携して子どもの生きる力を育むことは、これからの教育に求められる大きな使命であり、その指針となる教育大綱の策定には意義があると考える。改めて教育に対する市長の思いを聞く。

なお、幼・小・中の12年間だけでなく、今後到来する社会を生き抜くためにはどのような教育が必要なのかをしっかりと盛り込むよう要望する。

答 義務教育学校を預かる者として、子どもが社会に出て生きていけるよう、必要な学力、体力、判断力、社会性等を身に付けた上で送り出したいと考えている。そのため、家庭、地域、学校がそれぞれ役割を果たすよう連携して取り組む必要がある。学校の責任は極めて重大であり、常に社会情勢について理解し、子どもの成長段階に応じた教育を熟知し、最高の教育課程を提供できるよう努めたい。

◆その他の質問

○文化財を活用した広域観光施策でにぎわいづくりを

○組織設置等の具体的な取り組みでSDGsの推進を

市民の意見を代表した 市議会と真摯な議論を

合会
市民の会



野村 生代

これまで、市長の所信表明等では、二元代表制のもと市議会からの意見も十分に聞きながら市政運営を推進していくと述べてきたが、議員としては、十分に意見を聞いてもらい、何から反映された実感に乏しい。これから市政運営における市議会への姿勢について見解を聞く。

答 それぞれの議員がさまざまな市民の意見を酌み取り、市議会の推進に当たっては、これまでから審議や協議の場を通して市議会議員の意見を聞き、課題や方向性について共有を図りながら取り組むを進めてきた。今後も、市民福祉の向上や、本市の成長発展に向けて、市議会との議論を重ねていきたい。

問 子どもの貧困や虐待、いじめなど、子どもを取り巻く問題が深刻化する中、全ての子どもたちが一人の人間として尊重され、その権利が保障される地域社会の構築が重要とされており、子どもを守る仕組みづくりに向け、条例の制定を進めていく。

◆その他の質問

○保育の質を確保しながら通園する家庭児童センターの実現を

○留守家庭児童会室の再編は現場の意見を踏まえ検討を

を例、子どもを権利主体に、最善の利益の実現を子守る。

問 (仮称) 子どもを守る条例を制定し、虐待やいじめなどから子どもを守るというが、そのためには、子どもの権利条約を基礎として考え、子どもを権利の主体として位置づけることにも、その最善の利益を実現するという視点が重要ではないか。

なお、子どもが一人の人間として尊重され、権利の侵害は許されないこと、権利が侵害された場合は救済が行われなければならないことなどについても、この条例に明記するよう要望する。



市議会の本会議の様子

問 本市の玄関口にふさわしい市駅周辺再整備を進め、本市全体の活性化につなげていくというが、なぜ市駅周辺再整備に取り組む必要があるのか。また、市駅周辺再整備

市議会の本会議の様子

市議会の本会議の様子

**点字議会報・声の議会報を
発行しています**

目の不自由な方に議会の活動を知っていただくため、「点字議会報」と「声の議会報」を発行しています。

送付を希望される方は、市議会事務局まで申し出ください。

また、「声の議会報」は市議会ホームページでお聞きいただけます。

声の議会報はこちら

手続きはかんたん！
あなたも議会を傍聴しませんか

○所定の受付簿に住所、氏名等を記入することで、市議会を傍聴することができます。

○28の傍聴席(一部予約可)と車いすスペースがあります。

傍聴の案内はこちら

事前のお申し込みを
希望者に手話通訳者を配置します

○本会議を傍聴する際、ご希望により、手話通訳者を配置します。

○費用のご負担はありませんが、事前のお申し込みをお願いします。

傍聴の案内はこちら